

ダイワ米国株主還元株ファンド 直近の運用状況について

2015年11月30日

平素は、「ダイワ米国株主還元株ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの直近の運用状況について、お知らせいたします。

＜基準価額・純資産の推移＞

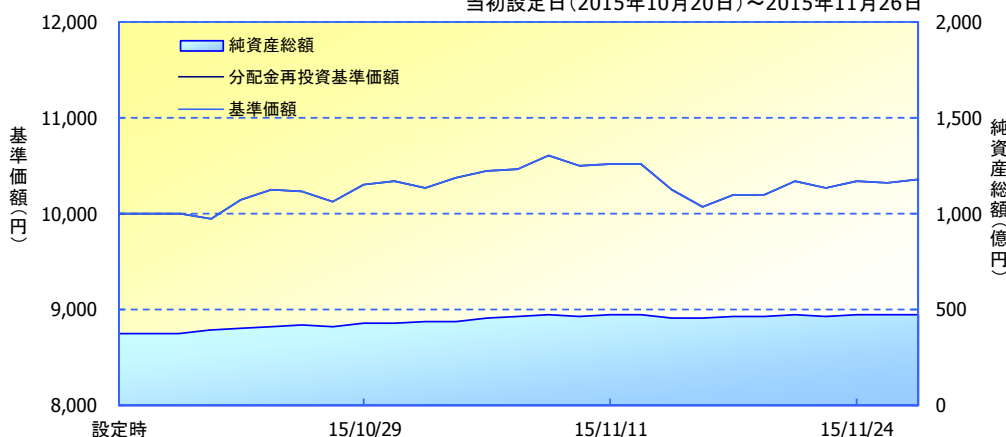
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2015年11月26日現在

基準価額	10,351 円
純資産総額	470億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.2 %
3カ月間	-----
6カ月間	-----
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-----
設定来	+3.5 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜主要な資産の状況＞

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド		合計98.8%
運用会社名	ファンド名	比率
UBS AG (UBSアセット・マネジメント(チュリッヒ))	UBS(CAY)USTータル・イールド・ファンド (USTータル・イールド・クラス)	98.7%
大和証券投資信託委託	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	0.1%

＜UBS(CAY)USTータル・イールド・ファンド(USTータル・イールド・クラス)の運用状況＞

※比率は、株式ポートフォリオ(現金含む)に対するものです。

※UBS AG、UBSアセット・マネジメントが提供するデータ等を基に大和投資信託が作成したものです。

株式ポートフォリオ特性値	資産別構成
銘柄数	100
外国株式	99.4%
自社株買い比率	6.0%
現金等	0.6%
配当利回り(課税前)	1.3%

※自社株買い比率と配当利回り(課税前)は、UBSアセット・マネジメントが算出したものを表示しています。

株式 業種別構成	合計99.4%
業種名	比率
金融	25.5%
情報技術	20.9%
資本財・サービス	19.2%
一般消費財・サービス	17.6%
ヘルスケア	6.1%
素材	4.1%
エネルギー	3.3%
生活必需品	2.7%
電気通信サービス	---
公益事業	---

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。

※上記は、基準価額への反映を考慮して、2015年11月25日(現地)のデータに基づきます。

※株式 業種別構成の業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

《UBS (GAY) USトータル・イールド・ファンド (USトータル・イールド・クラス) の運用状況》 ※比率は、株式ポートフォリオ (現金含む) に対するものです。

※UBS AG、UBSアセット・マネジメントが提供するデータ等を基に大和投資信託が作成したものです。

組入上位10銘柄				合計11.1%
銘柄名	通貨	業種名	比率	
MICROSOFT CORP	米ドル	情報技術	1.1%	
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	米ドル	素材	1.1%	
FULTON FINANCIAL CORP	米ドル	金融	1.1%	
CARDINAL HEALTH INC	米ドル	ヘルスケア	1.1%	
CORNING INC	米ドル	情報技術	1.1%	
DST SYSTEMS INC	米ドル	情報技術	1.1%	
TRAVELERS COS INC/THE	米ドル	金融	1.1%	
TEXAS INSTRUMENTS INC	米ドル	情報技術	1.1%	
VALERO ENERGY CORP	米ドル	エネルギー	1.1%	
MCDONALD'S CORP	米ドル	一般消費財・サービス	1.1%	

※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。
※組入上位10銘柄の業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準 (GICS) によるものです。
※上記は、基準価額への反映を考慮して、2015年11月25日 (現地) のデータに基づきます。
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

《ファンドマネージャーのコメント》 ※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※以下のコメントは、UBS AG、UBSアセット・マネジメントが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

＜市場環境＞

米国株式市場は当ファンドの設定後の10月下旬には、12月の米国の利上げ観測が後退したことやドラギECB (欧州中央銀行) 総裁が12月の追加緩和を示唆したこと、中国の追加的な金融緩和策の実施などを受けてリスク選好の動きが強まり、上昇しました。11月に入ると米国株式市場は高値警戒感が強まったものの、経済指標の発表などを受けて利上げ開始時期をめぐる不透明感が後退すると、米国経済は利上げに耐え得るとの安心感が広がったことで再び堅調さを維持して推移しています。

＜運用状況＞

当ファンドは、米国の大型株と中型株の中から株主還元比率の水準や持続性の優れた企業を選定し、セクター分散などを勘案した上で、100銘柄に等金額投資を行いました。上記のように良好な市場環境を受けて、基準価額は順調に推移しています。

＜今後の見通しと方針＞

米国経済は、製造業で減速感が見られるものの、住宅関連指標などはおおむね堅調に推移しています。また、金融政策面ではFRB (米国連邦準備制度理事会) が年内利上げの可能性を示唆しており、市場では急速に12月の利上げ実施が意識されています。企業業績については、主要企業の2015年7-9月期決算は底堅い結果となりました。今後の米国株式市場については、緩やかな国内の景気拡大と米国以外での金融緩和の動きを好感し、堅調に推移することが想定されます。一方で、資源安や米ドル高による企業業績への影響には引き続き注意が必要と考えられます。

このような環境の中、当ファンドでは引き続き、株主への持続的な利益還元が期待される米国企業に幅広く投資を行い、信託財産の成長を目指してまいります。

以上

ダイワ米国株主還元株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

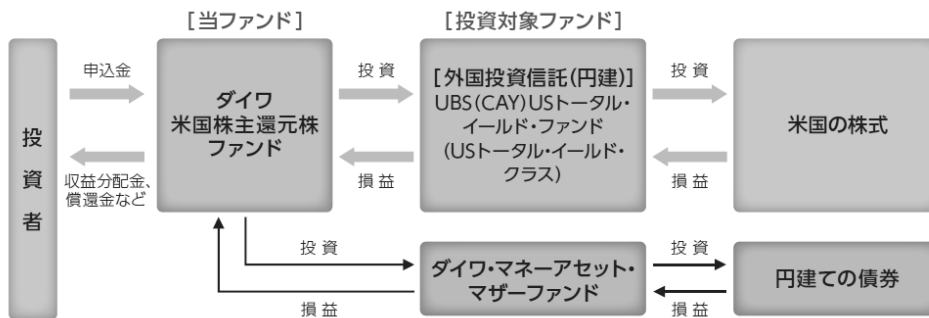
ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 継続的に株主還元を行なう米国企業の株式へ投資することで、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 継続的に株主還元を行なう米国企業の株式に投資します。
（注）当ファンドにおいて、株主還元とは、配当支払いおよび自社株買いをいいます。
◆株式への投資にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。
 - 米国の大型株・中型株の中から、配当や自社株買い、それらの安定性および持続性等に着目し、投資対象銘柄を選定します。
 - 投資対象銘柄の中から、セクター分散等を勘案し、約 100 銘柄を選定します。
 - 選定した約 100 銘柄に原則として等金額で投資を行ないます。
2. 米国の株式の運用については、UBS AG（UBS アセット・マネジメント（チューリッヒ））が行ないます。
3. 当ファンドは、以下の 2 本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。



- ◆当ファンドは、通常の状態では、投資対象とする外国投資信託への投資割合を高位に維持することを基本とします。
 - ◆為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク、信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。



ダイワ米国株主還元株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限>3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.323% (税抜 1.225%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.63%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.953% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会